



Vol. **117** 2018. 11(隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



撮影者：平良 健  
(法人レクにて)

# 虐待予防振り返り勉強会

## 一心療護園

九月七日に、県の障害者虐待防止法・権利擁護研修に参加された山城安信さんを中心に、振り返りの勉強会を実施しました。

三つのグループに分かれ、身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・経済的虐待・ネグレクトについてそれぞれが思い浮かぶ事例を出し合い、発表しました。

最後に、研修に参加された、山城安信さんから研修で話し合われた虐待の話しを聴き、自分では虐待と思わない事も虐待となる危険性に気付くきっかけとなりました。



虐待に対する意見を話し合う

# 法人研修



テーマ「チームみんなで人柄を育てる」

# 関心の高さに驚き！「国際福祉機器展2018」

東京ビックサイトにて、十月十日から三日間開催された「国際福祉機器展2018」に参加してきました。

したが、実践での使用となる機器の大きさなどの課題が出てくるような印象も受けました。

とてつもなく大きな会場に所狭しと世界各国の業者がブースを構え、プレゼンテーションを行っておりました。

やはり昨今の介護人材不足が影響しているのか、介護職員の負担軽減や夜間の見守り支援に関する機器が多く出展されており、熱心にプレゼンを聞いている参加者が多く、関心の高さを伺うことができました。

開催期間中に約十二万人の方が来場される国際的な展示会に参加できたことは、大きな刺激となりました。また、これだけ多くの方が、福祉に関心を示しているという事に対して福祉に関わる一人として、大きな力を貰った気分になりました。

平良 健



期間中約 12 万人が来場



腰痛予防関連の機器

## 主任・リーダー対象

前年度に引き続き、ソーシャルワーク専門学校の諸見里先生を講師に迎え、主任・リーダー研修に参加しました。

職員の「人柄」を育てるというテーマであったが、育てる為には、関わり方であったり、上司の「人柄」も重要になってくるという話を聞いて人との繋がりが大切になっており、今の職員間の関係性を振り返りながら、考える時間になりました。

最後に立てた目標を軸に同じ立場の職員みんなで一歩ずつ成長していきたいです。

宮城 武尚

# 名桜大実習生受入

## やんばるの家

### やんばるの家で学んだ事

二週間の実習を通じて職員の方が特養の「生活の場」という特徴を念頭に、利用者さんの喜び、苦しみ、怒りなどその時々感情に対応している様子を見て寄り添って関わることの大切さを学び、これからの経験に活かしていきたいと思えました。又、生活の援助を主に行う介護士と看護師が情報を共有し、医療的な処置を行うなどの多職種連携の実際を見て学ぶことが出来ました。二週間の実習で多くの学びや経験を得ることが出来たと思います。ありがとうございました。

名桜大学看護学科

四年生 比嘉志乃



名桜実習生とゲームを楽しんでいます。

# 夜間想定避難訓練

## グループホーム きじよか

グループホームきじよかでは、年に二回（夜間・昼間）の火災を想定した消防訓練を実施しています。「失敗」から学び「気づき」を得る事をテーマとして、実際に体験する中から得られた「気づき」を訓練参加者が共有し最善と考えられる対応策を見つけていく事を狙いました。

今回、夜間に火災が起きた場合を想定し、夜勤職員にて通報・初期消火・避難誘導の一連の流れを実施し入居者・職員の緊張感も伝わり良い訓練が行なわれました。消防職員の評価・指摘もありましたが、「失敗」から学び「気づき」を得ることが出来たと思います。

## グループホーム つつじ苑

グループホームつつじ苑では、九月二十日に夜間を想定した避難訓練を実施しました。

台所から火災が発生したとの想定で夜勤者が消防へ通報、利用者を火元から離れた非常口（東側廊下）から外へ避難させる訓練です。夜勤者の「火事だー」と施設に響き渡る程の大きい声で利用者へ知らせると同時に非常口に向かって歩ける利用者は逃げる様指示をし、歩けない利用者は車椅子に乗せ避難しました。今回夜勤に当たった職員が法人内で経験を積んだ職員であったので対応が迅速、的確であったので新人職員へのいい見本になりました。

訓練を終え職員より「夜勤者は一人なので近隣住人の協力が必要な時が出てくると思うので訓練への参加呼び掛けも必要ではないかと思えます」との声があり今後の訓練に活かして行きたいと思えます。



火元に向け初期消火の様子



屋外に避難する様子



消防職員立ち会いのもと避難する様子

\*\*\*\*\*  

**合同祝い** やんばるの家  
 \*\*\*\*\*



祝いの皆様

九月二十四日やんばるの家にて新百歳三名・風車二名の合同祝いを行いました。例年より台風接近が多く開催が心配されましたが、無事開催する事が出来ました。実行委員を中心に全職員の協力のもと華やかな祝いとなりました。祝いの者（利用者）も普段あまり会えない

家族や親戚と会い殆どの家族が四世代で参加され長寿を祝うことが出来ました。  
 飛び入りでシンガポールの大学生が見学に來られ祝いの者にケーキの贈呈があり長寿を祝う風習に大変感動され祝いの者と一緒に記念撮影をし自国に長寿の里を伝えたいとの



シンガポールの学生と記念撮影

事でした。祝いの家族代表（神里富松さま）謝辞にて「やんばるの家で母が百歳の祝が出来、良かった」との言葉を頂きました。  
 今後も利用者と家族、職員が共に長寿を祝うことが出来る様取り組んでいきます。  
 実行委員長 奥原 尚輝



観月会を盛り上げるカチャーシー

**観月会**

一心療護園

九月十四日一心療護園の食堂ホールにて観月会が実施されました。  
 利用者を代表して山城安江さんの健康祈願に始まり、職員による、長瀬剛の歌の余興、各棟によるカラオケ、利用者による余興が披露され、最後のカチャーシーでは、利用者の金城前吉さんに、大いに場を盛り上げてもらい、楽しい時間を過ごす事ができました。  
 また来年の観月会を楽しみにしたいと思います。

# 風車パレード

小規模あがり

十月十三日、あがりの利用者で東村宇出那覇出身の宮城光子さんのカジマヤーパレードが行われました。

十四時に自宅を出発し、地域を回り十四時半頃東村役場に到着。あがりの職員と利用者は東村役場の向かいにあるグループホームつつじ苑の利用者、職員と



ベントのオープンカーでパレード

玄関先で迎えました。利用者の皆さんも片手で風車を振り大きな声で「おめでとう」と自分の事の様に喜んでいました。

光子さんは華やかな衣装で綺麗に化粧をされ、集まってくれた周りの方に沢山の笑顔で手を振っていました。

元気でカジマヤーを迎えられたことを私達あがりの職員も、大変うれしく思っています。本当におめでとうございます。

# 敬老会

デイサービス

九月十七日、デイサービスでは敬老の日のイベントとして、余暇の時間に職員による踊りや三味線を披露し祝いました。

地域の敬老会の催しへ参加された利用者様もおられ、それぞれに地域の方々と交流されたり楽しい一日を過ごされた様でした。日ごろの職員の姿とは違



デイ職員による余興

う余興姿に「誰ねー」と、驚き笑いありで、一緒に歌ったり、踊ったりして楽しいひと時を過ごしました。「デイに来ると元気が出て楽しいさー」との声が聞かれ、これからも利用者の皆様が健康を維持し、喜んで利用していただけるよう努めていきたいと思えます。



デイ職員による三線演奏

# 東村敬老会

小規模あがり

九月十二日に東村農民研修施設にて行われた敬老会に、あがり利用者五名が職員の付き添いにて参加しました。



保育園児のエイサー



村長による記念品贈呈

会場に着くと沢山の人が賑わっていて、久しぶりに会う方達との再会で会話を楽しまれていました。又、余興では保育園児の可愛いエイサーや婦人会の踊りを見ながら手をたたいて楽しい時間を過ごされました。



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私の歴史」(ライフストーリー)と題してご紹介する企画です。



記者の質問に答えるマサさん

### 沖縄タイムス社より取材受ける!

本誌115号登場者 金城マサさん(九十二歳)

十月二十三日 金城マサさんの人居施設グループホームつつじ苑において沖縄タイムス社 謝花直美記者(編集局)より、マサさんに女性議員についての取材が行われました。

この取材にはマサさん息子・悟さんとつつじ苑管理者・平良芳美さんも立ち会われ、マサさんのこれまでの経歴や時代背景などの聞き取りが行われました。

広報いっしんでは語られなかった、女性議員に対して地域の歓迎ムードだけではない冷やかな態度も有ったと今だから話せる苦労話も語られました。

また、女性議員はマサさんの先にも後にも東村には出馬していかないとの事で小さな村の女性の活躍が東村の誇りでもある事を再認識させられた取材となりました。

### 夫レクリエーション

今年も恒例の職員による交流会を十月十九日に法人職員駐車場にて行いました。今年

の法人レクはスカットボールを行いました。あまり知られない競技に戸惑いはありませんが、楽しく盛り上がる事ができました。その後は、観月会を行い肌寒い中ではありましたが、綺麗な月の下で、美味しい肉やお酒を頂きながら職員の親睦を深める事が出来大成功に終わる事ができました。

これからは職員の交流を大切に、一心福祉会を盛り上げていきたいと思えます。

介護員 島川 智則



バーベキューとてもおいしいです

### 約二十年ぶりの復活!!

法人野球部紹介

一時期の活気を失い休止状態であった法人の野球部でしたが、昨年度、復活を望む声が多く若い職員より寄せられました。

以前のユニフォームは既に使用できない状態になっていたため、これを機に新調して心機一転、一心福祉会野球部が復活しました。デビュー戦はオリオンスーパーベースボール大会に参加し、地区予選準優勝という結果でした。今年度はリベンジという



美味しい肉を食べて話も弾む!!



楽しむ!をモットーに活動します

事で、昨年よりも気合を入れて同大会に挑んだのですが、地区予選準優勝という結果でした。

敗れた悔しさは残りますが、応援団も駆けつけてくれて大いに盛り上がり、職員間の良い交流の場となりました。

また、今年の活動の締めとして十一月中には紅白戦を行い親睦を深め、一年の活動を振り返り来年の糧とします。

# 秋のミニ運動会

デイサービスやんばる

デイサービスでは秋のミニ運動会を十月十一日と十二日の二日間開催しました。

利用者を代表して平良蔵健さんの挨拶、松本太一さんの元氣いっばいの力強い選手宣言で始まった運動会は赤白組に分かれて玉入れ、物渡しリレー、職員による玉運びリレー、皆で踊ろうと四種目行いました。利用者宮城愛子さんによる応援歌『♪もしも赤組が負けたなら電線柱に花が咲く、焼いた魚が動き出す、絵に描いたダルマが踊りだす。フレーフレー赤組』と塩屋区に伝わるお応援歌で運動会を盛り上げていました。

デイサービスの狭い廊下での開催でしたが太鼓の音や「頑張れー」と応援の声、歓喜に包まれた運動会は最高潮に盛り上がりました。

利用者の宮里恵美子さんは「運動会の歌を歌って子供の頃に帰った様で楽しかった。運動



物渡しリレーのひとつコマ

## 待ちに待った余興支援

障害者支援施設 えすの里

川遊びや、球技大会、ゆうあいスポーツと数々の行事が悪天候の為、中止になってきたえすの里でしたが、ようやく天候に恵まれ、沖繩こどもの国へ出掛けて来ました。

「ライオンや象を見たい」と楽しみにされる姿もありましたが、おやつタイムを期待する利用者さん。

昼食後に、動物園見物やメ



見物を楽しむ利用者

会もたまにしたほうが良いね」と興奮気味に話されていました。

リーゴランド等の乗り物に乗り、しっかりとおやつも堪能して最高の一日になりました。



## 月1回の楽しみ 歌のボランティア

小規模 いっしん

利用者さんが毎月楽しみにしている行事で、第一水曜日の午後より、歌の会の四名の皆さんが来所し、三線、エレクトーの演奏を利用者さんと共に歌い、楽しいひと時を満喫しています。

新しい曲として利用者さん家族より「田嘉里行進曲」の歌詞の提供があり、歌の会のメンバーさんが演奏



楽しく歌える歌詞集を見ながら合唱です



毎月来所する、歌の会の四名の皆さん

し、田嘉里区の利用者さんが久しぶりに聞き歌い懐かしそうでした。

歌の会の皆さん、これからもよろしくお願ひします。

## 大宜味村老人婦人スポーツ大会 一心福祉会チーム参加!!



一心福祉会女子パワー発揮!!

## 法人レク・観月会



スカットボールの後に見事な月夜の下で



### ◇◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	32名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	2～3名	0名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	4名	0名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25名	8名	0名
認知症対応型グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
認知症対応型グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	1名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

平成30年10月29日現在

**介護に関する**  
**困った** を共に考えます!

サービスや手続きの相談等受け付けます。

**介護支援センター やんばる**

**電話 0980-44-2398**

担当：安里・當眞

お気軽に  
お電話下さい!



